

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成17年12月2日(2005.12.2)

【公開番号】特開2000-121227(P2000-121227A)

【公開日】平成12年4月28日(2000.4.28)

【出願番号】特願平10-298261

【国際特許分類第7版】

F 2 5 D 11/02

F 2 5 D 16/00

F 2 5 D 17/08

【F I】

F 2 5 D 11/02 J

F 2 5 D 16/00

F 2 5 D 17/08 3 0 5

F 2 5 D 17/08 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月17日(2005.10.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】 少なくとも三つの異なる温度帯で温度調節を行う区画で構成され、第1断熱仕切り、第2断熱仕切りによりそれぞれ分割、区画化された冷蔵室とチルド室、氷温室、パーシャル室といった新温度帯室と冷凍室とを有する冷蔵庫箱体と、前記冷蔵室に比較的蒸発温度の高い冷蔵用蒸発器と第1送風機と前記冷凍室に比較的蒸発温度の低い冷凍用蒸発器と第2送風機とを配設し、前記冷蔵室の冷却は前記冷蔵用冷却器からの前記第1送風機の吹出し空気により行い、前記新温度帯室の冷却は前記冷凍用蒸発器からの前記第2送風機の吹出し空気により行うことを特徴とする冷蔵庫。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

【課題を解決するための手段】

この目的を達成するために本発明の冷蔵庫は、少なくとも三つの異なる温度帯で温度調節を行う区画で構成され、第1断熱仕切り、第2断熱仕切りによりそれぞれ分割、区画化された冷蔵室とチルド室、氷温室、パーシャル室といった新温度帯室と冷凍室とを有する冷蔵庫箱体と、前記冷蔵室に比較的蒸発温度の高い冷蔵用蒸発器と第1送風機と前記冷凍室に比較的蒸発温度の低い冷凍用蒸発器と第2送風機とを配設し、前記冷蔵室の冷却は前記冷蔵用冷却器からの前記第1送風機の吹出し空気により行い、前記新温度帯室の冷却は前記冷凍用蒸発器からの前記第2送風機の吹出し空気により行うことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

【発明の実施の形態】

本発明の請求項1に記載の発明は、少なくとも三つの異なる温度帯で温度調節を行う区画で構成され、第1断熱仕切り、第2断熱仕切りによりそれぞれ分割、区画化された冷蔵室とチルド室、氷温室、パーシャル室といった新温度帯室と冷凍室とを有する冷蔵庫箱体と、前記冷蔵室に冷蔵用蒸発器と第1送風機と前記冷凍室に冷凍用蒸発器と第2送風機とを配設し、前記冷蔵室の冷却は前記冷蔵用冷却器からの前記第1送風機の吹出し空気により行い、前記新温度帯室の冷却は前記冷凍用蒸発器からの前記第2送風機の吹出し空気により行うことを特徴とするものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

チルド室、氷温室、パーシャル室といった約-3~0の新温度帯室については、冷蔵室内の冷蔵用蒸発器からの比較的温度の高い吹出し空気により冷却するのではなく、冷凍室内の冷凍用蒸発器からの低温の吹出し空気により冷却することにより容易に新温度帯室の冷却を行うことができ、第1断熱仕切りにより冷蔵室内の比較的温度の高い空気の熱影響は軽減できるので、圧縮機の停止時や冷蔵室の冷却時といった新温度帯室の冷却時以外の運転状態において、新温度帯室内の昇温が抑えられ生鮮食品等の鮮度維持期間を長くすることができるという作用を有する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0053

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0053】

【発明の効果】

以上の説明から明らかなように本発明の冷蔵庫は、少なくとも三つの異なる温度帯で温度調節を行う区画で構成され、第1断熱仕切り、第2断熱仕切りによりそれぞれ分割、区画化された冷蔵室とチルド室、氷温室、パーシャル室といった新温度帯室と冷凍室とを有する冷蔵庫箱体と、前記冷蔵室に比較的蒸発温度の高い冷蔵用蒸発器と第1送風機と前記冷凍室に比較的蒸発温度の低い冷凍用蒸発器と第2送風機とを配設し、前記冷蔵室の冷却は前記冷蔵用冷却器からの前記第1送風機の吹出し空気により行い、前記新温度帯室の冷却は前記冷凍用蒸発器からの前記第2送風機の吹出し空気により行うものである。